

## 別記様式(第4条関係)

## 会議録

会議の名称	第1回加東市社地域小中一貫校開校準備委員会
開催日時	令和元年5月31日(金) 19時30分から20時30分まで
開催場所	加東市社公民館 2階 研修室
議長の氏名 (委員長 松井敏)	
出席及び欠席委員の氏名	
【出席委員】 27人	
佐々木正利委員 津田美紀委員 別惣裕美子委員 松井敏委員 石井英昭委員 塩寺一博委員 臼井純男委員 臼井いづみ委員 小田裕希委員 田中邦和委員 井本和樹委員 上月博文委員 長尾守委員 林智子委員 依兼計博委員 稲継健太郎委員 坂本学委員 岸本吉博委員 長谷川貴典委員 大牧丈夫委員 平川真也委員 井上奈美子委員 登光広委員 上月幸代委員 橋本喜貴委員 木田丹子委員 辻田昇司委員	
【欠席委員】 8人	
樹梨林三委員 大畑祥二委員 西山春美委員 大西康之委員 藤本善仁委員 大江みさ子委員 永井弘江委員 打田晃委員	
説明のため出席した者の職氏名	
【教育委員】	
田中寿一教育長職務代理者 神崎芳美教育委員 藤原哲史教育委員	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
教育長 藤本謙造	
教育振興部長 西角啓吾 こども未来部長 広西英二	
こども未来部参事兼学校教育課長 後藤浩美	
こども未来部学校教育課副課長 井上聡	
こども未来部小中一貫教育推進室 室長 柴崎俊之	
同 副課長 丸山真矢	
同 係長 郡 龍仁	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	
【議題】	
(1) 委員長、副委員長の選出について	
(2) 開校準備委員会組織について	
(3) 今後の予定について	
(4) 意見交換	

## 【会議結果】

- (1) 委員長、副委員長を選出しました。
- (2) 資料1から資料2に基づき、事務局から説明を行いました。
- (3) 資料3から資料4に基づき、事務局から説明を行いました。
- (4) 意見交換を行いました。

## 【会議の経過】

### 1 開会

### 2 挨拶・自己紹介

### 3 議事

#### (1) 委員長、副委員長の選出について

委員長に松井敏委員、副委員長に辻田昇司委員を選出

#### (2) 開校準備委員会組織について

#### (3) 今後の予定について

〔事務局説明 資料1～資料4及び加東市小中一貫教育について〕

#### (4) 意見交換

(委員長)

ただいま事務局のほうから説明がございました。今日の議題にかかわらず、今後どのように関わっていったらいいのかということでも構いませんし、何か意見ございましたらどうぞ御遠慮なく発言していただけたらと思います。

(事務局)

いろんな思いの中で今日この場に来てもらっていると思います。お一人ずつでも、御意見をいただければありがたいです。

(委員長)

では、委員さんからお願いできますか。

(委員)

5年前に大まかな話をさせてもらったし、復習も兼ねて見ました。今は楽しみの方が勝っている感じです。

(委員)

自分がどの程度お役に立てるのかなとちょっと心配もありつつ、興味もありつつという感じです。

(委員)

多くの友だちが来るのはいいと思いますが、逆にマンモス化し過ぎて本当に先生の手が一人ひとりまわるのかなというのが心配です。それと、中学校は高校入試であるとか、戸惑いが、中学校になったときの時点ではなく、もっと早い段階

でいろんなギャップとかシステムとか、そういうのを学べて早期に慣れていいのではないかと考えております。そういうことで前向きに取り組んでいかせていただきたいなどは思っております。

(委員)

小中一貫校というシステムは、今までの小学校、中学校、そういう現実的なものに一つの風穴を開けるものだと考えます。先進校の視察、こういうのをしっかり見せていただき、この加東市から、日本を背負うような人材が育っていったらなとこういうふうに思います。

(委員)

小中一貫校の9年間というのがどのようなメリット、デメリットがあるのか、先進校視察で自分なりに見きわめたいと思います。

(委員)

異学年の交流だとか出前授業などは子どもたちにとって大切なコミュニケーションがとれて、いいことではないかなと思いました。

(委員)

ここに来るまでは7年、8年、9年という呼び方が変わるだけなんじゃないのかという感覚しかなかったですが、今日説明を聞かせていただいて、こういうメリットがあるんだな、というのが感想です。

(委員)

目的だとか教育方針というのがある程度理解できたと思います。問題点もあると思うので、先進校を視察する際に、そこも資料として出していただいて、それを加東市の一貫教育の場でどのように解消というか、それについても協議していきたいというのが、本日の率直な意見です。

(委員)

正直、資料を見てもよくわかりません。今、実際保育園の子どもの数は、そんなに多くなく、それがいきなり小学校になったからといって、中学校3年生のお兄ちゃんとか、小学校6年生のお兄ちゃんたちと仲よくなさいと言われても、やっぱり子どもとしても戸惑う部分もあるのではないかと思います。やはり、いじめとかそういうのも今特に多いので、子どもの数が増えれば、1人の先生に対して見る子が増えてしまうのがあるので、悪い面になかなか目が届かなくなるっていう問題もあるのではないかと思います。4・3・2制で、なだらかにいくみたいな感じですけど、ある程度壁みたいなものをつくるのも大事なんじゃないかと思います。今までであった、小学校で卒業して中学校に行く、そこで一つ段階を超える壁というのがあり、別に大きな壁を作れというわけではないんですけど、ちょっと努力すれば乗り越えられるぐらいの壁は作ってあげたほうが、子ども自身が努力するということを学べると思いますし、その壁があれば、やはり乗り越えたときに、僕は頑張ったから乗り越えられたんだ、じゃあ次の壁もまた乗り越えられるだろうみたいなのもできると思います。なだらかにいくというのも、多少メリットがあるとは思いますが、僕には余りメリットがあるようには正直感じなかったです。

(委員)

ちょうど、6年生が中学校に上がる年に開校する子たちが混乱しないよううまく移行できたらいいなと思います。

(委員)

今気になるのは、学校区が広がるので、今後そういうところを気にしながら話ができたらと思います。

(委員)

2年生や3年生、そういった学年で途中から一貫になる場合、いきなり友だちとかそういう交友関係も変わってきますので、そのあたりがスムーズにいけるようになればいいなと思います。質問なんですけれども、専門委員会、2つの中から1つ選ぶということなんですけれども、これは希望は通るんでしょうか。どちらかに偏った場合は誰かが動かないといけないのでしょうか。

(事務局)

よほどの隔たりがない限りは、皆様方が希望されるほうを優先させてもらいます。人数が少なすぎれば会が成立しない場合もありますので、そういう場合は調整も必要かと思いますが、原則は皆様方の希望するところです。

(委員)

説明のほうも聞かせていただいて、何となく形が見えてきました。今日ここに集まっておられる、地域の方、そして保護者、先生方が納得をしてこの小中一貫校をつくっていきけるようになればと思います。

(委員)

メリットばかりじゃなしに、先進校とかに行って、どういうデメリットがあって、それをどう改善して実際開校になったとか、あとその当時の子どもの親の方たちの意見も参考に聞けたらなと思います。

(委員)

視察なり、そういう資料とかを教育委員会事務局さんのほうでできるだけお示しするような、そういうことから理解を深めていただけることのほうがいいのではないかなというふうに思いました。

(委員長)

保護者、特に保護者の方々につきましては、学校のためということでは本当いろいろな身近な問題から今後の開校に向けての大きな課題となる話とか、貴重な意見、本当にありがとうございました。今後長期戦になりますが、どうぞ引き続き貴重な意見をお寄せいただきますように、よろしく願いいたします。

#### 4 閉 会

##### 【資料名】

資料1 加東市社地域小中一貫校開校準備委員会委員名簿

資料2 加東市社地域小中一貫校開校準備委員会設置要綱

資料3 社地域小中一貫校開校準備委員会等教育施策 組織・工程表 (案)

資料4 令和元年度社地域開校準備委員会スケジュール (案)

令和元年6月25日